

H. S. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

元々英語が好きで、海外の異文化にとっても関心があり、大学に入学する前から留学をしたいと考えていました。また、英語の先生になりたいと考えていたので、海外で色々なことを経験して生徒に海外と英語の楽しさを伝えられるような先生になりたいなと考えて、自然が綺麗で治安が良いカナダかオーストラリアへの留学を目指し始めました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

留学するために IELTS で 6.0 を取得する必要があったので、一年の国際教養学科に在籍している時から電車の通学時間をスーパー英語と単語を覚える時間にしていました。また、IELTS のリスニングに苦手意識があったので、暇な時間があれば TED Talk や Podcast を聞いたり、English Chat Room に行ったり、海外の友達と電話したりして、英語に出来るだけ慣れるように頑張りました。個人的に TOEFL には苦手意識があったので、1 年生の夏休みに英検の勉強を頑張り、準 1 級に合格することが出来て、それが IELTS のスピーキングの時の自信に繋がったと思うし、英検の Vocabulary の勉強がモチベーションだけでなく IELTS のスコアアップにも繋がったと思うので、IELTS だけではなく TOEIC や英検など自分にとって英語を勉強して達成感を感じられる試験を受験することが自分には合っていたかなと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

レアジョブというオンライン英会話で主にフィリピン人の先生から新しい英語の表現を学んだり、カナダやアメリカの海外の友達と電話をしたりしていました。

また、英会話スクールでアルバイトをしていたので、ネイティブのイギリス人とオランダ人の優しい先生に積極的に話しかけに行ったり、1 日最低 1 ページは単語帳を覚えるようにしていました。オーストラリア英語を聞き取れるかどうかとても不安が大きかったので、YouTube で「オーストラリア留学」と検索して、現地の情報などを勉強していました。

◆ ビザ申請方法

ビザ申請には、英語でエッセイを書く必要があり、たくさんの質問に英語で答えなければいけなかったのも、とても大変でした。オーストラリアのビザ申請は、オンラインでできると聞いて、最初は喜んでいましたが、あんなに大変な作業を一人でするくらいなら領事館に行くほうが断然いいなとビザを申請しながら思っていました。でも、英語で一人で大事な書類

を提出するという作業はこれが初めてだったと思うので、留学前に少し自信ができました。

◆ その他

オーストラリアにはシャワーしかなく湯船が恋しくなって、日本食と温泉とカラオケがとても恋しくなりました。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

SIM カードは持っていて、SIM を入れ替えたなら早速ネットが使えると思い込んでいたのですが、私の確認不足で空港についてから、SIM カードを開通させていなかったことを知って、急いで開通させたので、ホストファミリーとの連絡は Wi - Fi が使える Gold Coast Airport でしました。幸いにも、1 年生の国際教養学科の時の友達が空港まで迎えに来てくれたおかげで、友達に Go card という ICOCA のようなカードの使い方や、バスやトラムの乗り方まで教えてもらい、ホストファミリーの家まで送ってくれたので、友達には本当に感謝でいっぱいです。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

0 week というオリエンテーション期間には、色々なイベントがあり、大学の施設やサービスの使い方、アボリジニの人々の楽器や音楽、Movie Night、Gold Coast Twilight tour、Aussie BBQ、Aussie English Trivia、Aussie wildlife animals などオーストラリアでしか体験できない貴重なイベントが盛り沢山なので出来るだけたくさん参加するようにして友達をたくさん作りました。Week1 から授業が始まった時に Home sick にならず済んだのは、その時にできた友達の存在が大きかったです。

◆ その他必要な諸手続き方法

Trimester 1 の間しかないなので、口座開設はしませんでした。

⑤ 語学研修期間

語学研修はしていません。English Help という International students が全員利用できるサポートを利用しました。

◆ 語学研修先の施設・環境について

◆ 授業内容、課題、試験

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学内には、Student guild というボランティア団体があり、様々なイベントや毎週 Free grocery、Free dinner、Resume check など学生へのサポートがとても手厚いと感じ、とても大好きになったので、私も Student guild に入って、ボランティア活動をしたりして、本当に充実していました。また、大学にジムやプールもあって、綺麗な植物や Black Turkeys や Butcher birds をそこら中に見つけることが出来て、キャンパスの中を歩くだけで楽しかったです。

◆ 履修科目について

・ International Relations 1001GIR

この授業では、毎週録画された1—2時間程度のLectureを水曜日のWorkshopまでに視聴し、5-10個ぐらいあるWorkshop questionの中から自分の答えたいものを選び、Workshop内ではそのquestionについてDiscussionして話し合い、150字程度にまとめて毎回のWorkshop後に提出するという作業がありました。2時間で150-400 wordsのEssayを10個も書かなければいけないFinal Exam、Research Experienceで1500字のEssay課題などとても大変で、大学の24/7の図書館に泊まり込んで勉強することも何度もありましたが、内容はとてもためになる内容でした。

・ Introduction to Psychology 1 1001PSY

この授業では、心理学の歴史や理論、実験方法について学びました。TutorialとPASS sessionは毎週対面であり、Online recordingが毎週更新されるので、ついていくのに必死で、正直あまり復習をする余裕がなかったのでexamの前は図書館に泊まり込んで勉強しました。PsychologyのLab reportでは、1500wordsで論文を書く課題が出たり、Mid term examやFinal examでは、Lectureで習った内容全てを記憶する必要があったのですが、英語のVocabularyが難しく理解するのに一番時間がかかり、苦勞した科目でした。ただ、とてもやりがいがあり、楽しくて面白かったし、周りの友達に助けてもらいながらもなんとかやり切ることが出来たので、とても自信ができました。

・ Language and Communication for Arts and Social Sciences 5904LHS

この授業では、Academic Englishの基本から学ぶことが出来て、ReferenceでAPA7の方法やPresentationを英語で効果的に行う方法など、様々なことを学びました。また、英語の記事の読み方やAIの使い方、Google scholarやGriffith libraryの使用法、Plagiarismを防ぐ方法なども学んで、日本にいた時に国際教養学科のOSPの授業とAESで習った内容が少し被っていたので分かりやすいと思ったことも何度かありました。

その中でも、5人で協力してGroup presentationをして、いい評価をもらった時はとても達成感があり、嬉しかったです。

・ Modern Standard Chinese (Mandarin) 1A 1084LHS

この授業では、Basic Chinese を英語で学びました。日本語でも中国語を習ったことがあったので、日本語と英語で教え方はどのように違いがあるのか比べてみたかったし、先生が優しくかったので履修登録変更期間に履修しました。毎週授業が火曜、水曜の2回あり、Speaking Task で中国語の文章5文ほどを録音し、We chat という Chinese app の先生が作成したグループに送る課題が毎回ありました。授業内では、Group Discussion 習った Phrase を使って実践練習をしたり、Oral Exam、Written Exam があり、Task が盛り沢山の授業でしたが、一番楽しかったので私の息抜きになっていました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

Griffith University には 80 個以上のクラブ活動があり、0 week のオリエンテーション期間だけで決めるのは難しかったのですが、Japan club、Psychology society、FOCUS という Christianity club、YOGA club、Serotonin というアカペラサークル、Marine society、Education society に友達と一緒に Sign in しました。

授業が忙しくて参加出来ないことも多かったのですが、Japan club ではダンスをしたり、お話をしたり、Psychology society ではお菓子を食べながら Movie night、ゲームやカラオケパーティーをしたりしました。Christianity の FOCUS は毎週木曜日で時間がちょうど良かったし、友達がたくさん出来たので毎週行っていました。ゲームをみんなでしたり、お喋りした後みんなでカレーや noodle や Sushi など夜ごはんを準備してもらえたのでみんなで食べた後、Bible をみんなで読み進め、Discussion をしていました。聖書の Vocabulary は難しく理解できないことが多々あったけど、友達がゆっくり簡単な英語や絵を描きながら教えてくれたので英語の勉強にもなりました。また、日曜日には、教会に連れて行ってもらってみんなで歌ったり、Birthday Party に招待してもらったり、本当に楽しくて素敵な思い出がたくさんできました。Emma が日本語がとても上手で、日本語も混合でお話してきたり、Malakai という子が来年日本で留学したいので、日本語のひらがなを教えたり、折り紙で Totoro を一緒に折ったりできたのもとても嬉しかったです。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 正規科目履修期間

ホームステイ AHN

最初の1ヶ月（3月）は Broad Beach South のフィリピン人夫婦の家でホームステイしました。ルームメイトは Yuri さんという日本人の人が隣の部屋で一緒に住んでいたのも心強かったです。部屋は個室、トイレ・シャワーは共同、食事は朝と昼は授業があったから学校で食べ、夜ご飯はホストマザーが準備してくれました。大学までは Broad Beach South

Tram Station から Griffith university Tram Station まで、Tram で 40 分くらいで着き、家の前には Pacific Fair というショッピングセンターがあり、徒歩 5 分の距離に Broad Beach があったのでとても立地が良くて、Broad Beach で毎朝 sunrise を見たり、ビーチで泳いだり、バカンスのような日々を過ごしました。

でも、フィリピン人夫婦が 4 月からブリスベンに引っ越しして息子さんと一緒に暮らすことが去年から決まっていた、4-6 月は Labrador という場所で 58 歳の Sianna というホストマザーと一緒に暮らしていました。大学までは、バスで 47 分、徒歩 42 分の距離でバスが好きではなかったもので、毎日歩いて学校に通学していました。rainbow lorikeet などの可愛い鳥や、お花などの自然いっぱいな場所なので暑かったけど歩く方が楽しくて良かったです。でも、日差しが強すぎるので日傘とサングラスは持って行って本当に良かったなと思いました。

⑨長期休暇の過ごし方

Study Break で一週間程度の休みが Week4 の後にありましたが、Week5 には Psychology の Midterm exam があったので勉強していました。でも、友達と日帰りでブリスベンの “Beauty and the Beast” のミュージカルを見に行ったり、ビーチに行ったり、コアラを抱っこしたりと週末の学校のない日は本当に幸せな毎日でした。とにかく Broad Beach の sunrise が恋しいです。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

学生支援課からのメールで届く自己分析セミナーの recording などが沢山届いていたので、就職希望者全員必須と書かれた録画されているものは空き時間に視聴しました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

親友の Pascale と Joshua が Springbrook National Park に連れて行ってくれて、Rainforest の中をハイキングしたり、彼らの Secret water fall を教えてくれたり、Tree Farm や Eucalyptus tree の別名は Gum tree ということやコアラや鳥の生態系、Pascale は Australia で Joshua はイギリス出身なので Aussie English と British English を教えてくれたり私にとって本当に The Best Day EVER でした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

最初は、Aussie English の話すスピードやスラング表現に慣れるまでにすごく時間がかかり、ホストマザーとの会話で理解出来ないことが多くて苦勞しました。日本とオーストラリ

アの授業形式は全然違ったので、慣れるまで課題の多さと授業についていくのが本当に大変でした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

オーストラリアのお店はほとんど5時に閉まってしまうので、最初は不便だと思いました。が、オーストラリアの人は9時くらいに寝て朝4時くらいに起き、カフェに行ってフラットホワイトを飲みながら勉強をしたり、ビーチに行ってサーフィンやお散歩をしたりするのが dairy routine になっているのでとても素敵だなと思い、私も早寝早起きに自然となっていました。また、朝6時くらいから Butcher birds や Ibis が鳴き始めるので、気持ちの良い朝を迎えられたし、Broad Beach の朝日の美しさは一生忘れません。

また、ホームステイをしている上で、湯船がないのはもちろん、シャワーは4分以内や、洗濯は週1～2回、また、食器洗いも水をシンクに溜めて効率的に洗わなければならない、最後に水で食器を洗い流さないのにはとても驚き、衛生的に心配だったけど、徐々に慣れていきました。また、部屋の中でも靴を履いているのに、裸足でも歩き回っていることや、シャンプーは週2回しかしないとっていたのにもとても驚きました。

また、オーストラリアの授業では、時間に遅れても OK で先生も嫌な顔ひとつ見せず、Welcome. Thank you for coming. と優しく歓迎していたので、オーストラリアの人は、フレンドリーでストレスフリーな人が多いなと気づきました。また、教授や先生のことをニックネームで呼んでいて、フレンドリーで、ストレスがなく働ける環境だと思いました。また、物価は日本の三倍だけど、オーストラリアの初任給は日本の3倍以上だったので、人々の Quality of life が充実していて、経済も回っているという印象を受けました。オーストラリアの人は旅行が好きで、日本のアニメや日本食や文化が好きな人が多く、日本のことを沢山質問されました。また、オーストラリアは多国籍なので、オーストラリア Food はオーギービーフ、ソーセージ、ミートパイ、Fish and chips くらいで、レストランはタイ料理、中華料理店、韓国料理、日本食など様々な国からの文化、人々が混在していて、開拓するのがとても楽しかったです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かったことは多すぎますが、1つ挙げるなら、Griffith Mates や Student Guild のボランティア団体が様々なイベントを定期的で開催してくれて、生徒サポートが手厚いし、みんな優しく友達もすぐに出来やすいところがとても有り難かったです。

悪かった点は、授業で、英語が第一言語の学生たちと一緒に授業を受けていたのでプレゼンやグループディスカッションをみんなでするときに困ることがあったり、課題の多さに圧

倒されたけど、優しくて賢い友達の助けのおかげでなんとかなったので良かったです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンはないと困るので、持って行って本当に良かったです。また、スマホと PC の充電の際に、0 タイプの充電器の変換器も持って行って良かったです。また、日本食はお味噌汁とお餅、飴ちゃんが特に友達とホストマザーに気に入ってもらえたので持って行って良かったです。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学した後は、前よりも自分に自信を持って自分のことを好きになれたと思うし、気持ちにゆとりが生まれたと思います。ホストマザーに教えてもらった “I am my creator.” “Let love in.” また “You are loved.” “Good vibes only.” “Good Day.” という言葉も深く心に刻まれたので、日本でまた忙しい日々を追われ、楽しむことを忘れそうになることがあれば、このマインドを思い出して、自分を大切にしていきたいと思いました。留学前よりも語学力やコミュニケーションも向上したと思うけど、一番変わったと思うのは、他人と比較するのではなく “This is ME” と過去の自分と比べるようになり、自分を大切にするようになりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学をするまでに、IELTS の得点や親御さんを説得したり、新しい生活環境への不安など、沢山の壁がある中で、留学を志しているのは本当にすごいことなので迷っているなら諦めず是非行きたい国に留学して夢を叶えてください。私にとって、オーストラリアでの素晴らしい人々との出会いは人生を彩るかけがえのない大切な宝物になり、留学に行くまでにアドバイスをくださった教授や先輩、支えて応援してくれた友達や国際課の皆様、同志社女子大学、家族のみんなにも感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これから留学をする皆さんの留学体験が素晴らしいものになることを祈っています。

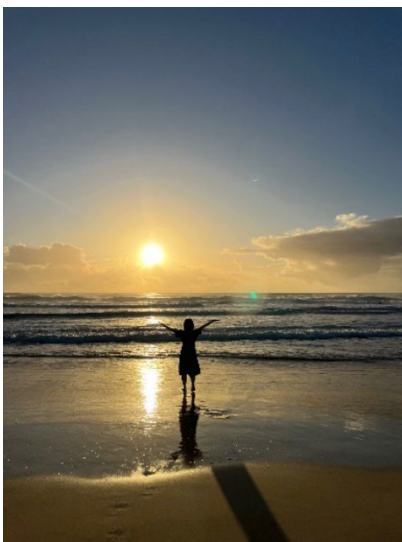
IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

将来は高校の英語の先生になりたいなと思っていましたが、留学を通して日本語教師を海外でするのもとても良いなと思いました。でも、オーストラリアの海が本当に綺麗だけど、地球温暖化で Cairns のグレートバリアリーフのサンゴが破壊されていると聞いて、環境を守る活動や動物保全活動にも興味が湧いてきました。また、カラオケ大会で “My Heart Will Go On.” を歌った時にみんなに褒められたのがとても嬉しくて歌手にもなりたいなと思っ

たりしましたが、日本に帰ると現実主義者に戻っていく気がするので、趣味程度で Piano と Guitar をもっと練習して、時間があれば友達に勧めてもらった You Tube を始めたいなども考えています。今は3年生で、あと卒業まで1年半で夢を決めるのは難しいし、今は教師になりたいのが一番大きいと思うので大学院に行ってもっと色々な経験を積み、インターシップを通していろいろな職業を知った上で、就職するか先生になるか決めたいと思います。

V. 写真



Broad Beach で Sunrise を見た時の写真です。世界で一番綺麗な場所だし、心が浄化されると思います。



コアラを抱っこするのはずっと夢で Bucket List の1つだったので、可愛くてふわふわで、本当に幸せでした。



親友の Pascale と Joshua が Springbrook National Park の Secret Water Fall に連れて行ってくれて、オーストラリアの生態系や Aussie slang など、色々なことを教えてもらいました。



International Buddy Program でできた友達が Farewell Party を開いてくれて、みんなでランチを食べた時の写真です。オーストラリアの国旗にみんなからメッセージを書いてもらい、とてもお別れが辛かったです



親友の Tamara と Hinata が日本に帰国する日に空港まで来てくれたのですが、HARUKA と

名前の入ったブレスレットとメキシコからのお守りとプレゼントと手紙を渡してくれて、泣くのを堪えるのに必死でした。5 枚の写真だけでは伝わらないけど、この留学は私にとって人生を変える本当に夢のような幸せであつという間の体験でした。終始支えてもらってばかりだったので、支えてくれた皆に感謝でいっぱいです。今はまだまだ未熟ですが、私自身もいつか皆をサポートし笑顔にできるようにしっかり人生経験を積んで日々努力を忘れずに成長していきたいです。